社会福祉法人清光園

事業報告 2021

令和３年４月１日～令和４年３月31日

3/29　夕張市内で感染者が確認され、全事業所の入館・面会を制限しました。

4　/　1　辞令交付式　（新卒者 1 名、中途採用者 1 名、課長職 1 名、係長職 2 名）

4/14　理念研修

ユニットリーダー会議・合同委員会

4/26　空知老人福祉施設協議会の事務局を芦別慈恵園より引き継ぎました。

4/28　やねだん館長の豊重哲郎さんが、東京 2020 オリンピック聖火ランナーの大役を務められました。

5　/　7　第 1 回理事会（書面審議）

5/12　コミュニケーションロボット LOVOT「おかざきさん」と「そらくん」誕生！

ユニットリーダー会議・合同委員会

5/13　第 1 回経営会議

5/27　新型コロナ見舞金をを支給しました。

5/28　第 1 回監事監査、第 2 回理事会を開催しました。

6　/　1　清峰町内会会長樋口勉氏に、第三者委員を委嘱しました。

6　/　4　評議員選任解任委員会を開催しました。

6　/　9　ユニットリーダー会議・合同委員会

6/12　さつまいもプロジェクト　沼ノ沢にある高橋農園さんの休耕地に、さつまいもの苗 350 本を植えました。

介護職員等派遣事業　クラスターが発生した江別市内のサ高住へ職員 1 名を派遣しました。(6/30 まで)

6/21　第 1 回定時評議員会を開催しました。

第 3 回理事会を開催　理事長重任となりました。

6/30　夏季賞与支給

6/　末　入居者、職員ともに、新型コロナのワクチン接種が終了しました。

7/14　ユニットリーダー会議・合同委員会

7/20　消防立入検査（特養）

7/23　東京オリンピック 2020 開幕

7/27　自然災害想定訓練（停電時救出訓練）

7/28　夕張市最高気温 35.0℃を観測史上最高気温

8　/　2　北海道におけるまん延防止重点措置が発令されました。

8/11　ユニットリーダー会議・合同委員会

8/12　第 2 回経営会議

8/20　全国に緊急事態宣言が発令されました。

8/24　東京 2020 パラリンピック開幕

8/27　第 2 回監事監査

8/30　第 4 回理事会（書面審議）

9　/　1　デジタル庁が発足

9　/　5　東京 2020 パラリンピック閉幕

9　/　8　ユニットリーダー会議・合同委員会

9/30　緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されました。

１０／４　岸田内閣が発足

10/13　ユニットリーダー会議・合同委員会

10/14　2021 年衆院選　清光園で不在者投票

10/15　福祉施設の面会制限が条件付きで緩和

10/18　2022 年度（令和 4 年度）事業計画作成プロジェクト発足。
施設長小田島、総務課長佐々木、介護係長西川、GH 管理者佐藤美加子、管理栄養士浦川、看護師菊地、機能訓練指導員下村、事務員原田の 8 名が理念達成のために、今我々にできることについて立案した。

10/28　介護報酬のコロナ特例（4 ～ 9 月に基本報酬 0.1％上乗せ）に替わる支援策（10 ～ 12 月）を決定

１１／４　地域事業部部長　佐藤かなみが、多年にわたり福祉活動に尽力したことが称えられ、「令和 3 年度夕張市功労賞」を受賞しました。

11/10　ユニットリーダー会議・合同委員会

11/18　第 3 回経営会議

11/19　介護、保育、障害福祉などの３％の賃金引き上げを盛り込んだ「新しい経済対策」を閣議決定

11/26　第 3 回監事監査　第 5 回理事会開催

11/30　新型コロナ「オミクロン株」感染者を日本で初確認

１２／３　次世代のリーダーを育成するために、西川梨香、渡辺芳賢、下村真人、菊地由美子の 4 名の職員をやねだん故郷創世塾に参加させました。

１２／８　ユニットリーダー会議・合同委員会

12/30　仕事納め

１　／　４　仕事始め

１／１２　ユニットリーダー会議・合同委員会

１／２７　北海道におけるまん延防止等重点措置が開始。北海道でもオミクロン株が確認され感染者が急増しました。

１／３１　第 6 回理事会開催

２　／　４　北京 2022 冬季オリンピック開催

２　／　９　ユニットリーダー会議・合同委員会
新型コロナウイルスワクチン～ 3 回目の予防接種開始

２／１０　空老協個別ケア部会開催（オンライン）　竹田主任、斉藤 UL、稲井 UL が参加。コミュニケーションロボット LOVOT と入居者の関りについて発表しました。

２／１５　特養の介護職員 1 名、新型コロナウイルスに感染。4 階全域をレッドゾーンとして対応。入居者及び職員全員の PCR 検査を実施した。

２／１６　PCR 検査の結果、全員陰性と判明する。

２／１７　第 4 回経営会議

２／２４　公宅建て替えによるプロポーザルを実施。

２／２５　第 4 回監事監査

３　／　４　空知管内のクラスター発生施設に、西川係長と村瀬介護職員の 2 名を派遣しました。

３　／　９　ユニットリーダー会議・合同委員会

３／１６　福島県で震度 6 強の地震発生

３／２５　第 7 回理事会開催

評　議　員　会

（1）第１回（定時）評議員会

日　　時　令和３年６月21日（月）15:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　評議員５名（源藤世栄子、下田正人、大橋光紀、横田久美子、大山修二）
　　理事及び監事４名（岡崎光雄、小田島英憲、中島秀喜、高橋一太）
審議事項　令和２年度事業報告について
　　令和２年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について
　　理事の選任について　候補者　岡崎光雄
　　理事の選任について　候補者　長谷川光次
　　理事の選任について　候補者　森本正治
　　理事の選任について　候補者　矢口孝行
　　理事の選任について　候補者　小網敏男
　　理事の選任について　候補者　小田島英憲
　　監事の選任について　候補者　中島秀喜
　　監事の選任について　候補者　高橋一太

理　事　会

（1）第１回理事会（書面審議）

日　　時　令和３年５月７日（金）（理事会の全員の同意を受けた日）
審議事項　令和２年度　第２次補正予算（案）について

（2）第２回理事会

日　　時　令和３年５月28日（金）16:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事６名（岡崎光雄、長谷川光次、森本正治、矢口孝行、小網敏男、小田島英憲）
　　監事２名（中島秀喜、高橋一太）
審議事項　令和２年度事業報告について
　　令和２年度決算報告について
　　定時評議員会の開催について
　　評議員選任・解任委員の選任について
　　評議員選任・解任委員会の開催について
　　評議員の推薦について
　　①源藤世栄子　②下田正人　③横川孝一　④大橋光紀　⑤横田久美子　⑥大山修二　⑦坪田聡
　　役員（理事・監事）の推薦について
　　①岡崎光雄　②長谷川光次　③森本正治　④矢口孝行　⑤小網敏男　⑥小田島英憲　⑦中島秀喜　⑧高橋一太
報告事項　理事長の実務状況報告
　　監事監査報告

（3）第３回理事会

日　　時　令和３年６月21日（月）16:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事６名（岡崎光雄、長谷川光次、森本正治、矢口孝行、小網敏男、小田島英憲）
　　監事２名（中島秀喜、高橋一太）
審議事項　理事長の選定について
　　令和２年度決算報告について
報告事項　理事長の実務状況報告

（4）第 4 回理事会（書面審議）

日　　時　令和 3 年 8 月 30 日（月）（理事会の全員の同意を受けた日）
審議事項　令和 3 年度第 1 四半期事業報告について
報告事項　理事長の実務状況報告
　　監事監査報告

（5）第 5 回理事会

日　　時　令和 3 年 11 月 26 日（金）　16:00
審議事項　令和 3 年度上半期事業報告について
　　令和 3 年度介護サービス提供基盤等整備事業について
　　公宅老朽化に伴う建て替えについて
報告事項　太陽光発電導入の検討について
　　理事長の実務状況報告
　　監事監査報告

（6）第 6 回理事会

日　　時　令和 4 年 1 月 31 日（月）16:00
審議事項　資金運用規程の制定について
　　公宅の整備について
　　令和 3 年度介護ロボット導入支援事業～特別養護老人ホーム清光園入浴支援リフト整備について
報告事項　令和 3 年度介護サービス提供基盤整備事業～グループホームまどか 2 方向出入り家族面会室整備について
　　理事長の実務状況報告

（7）第 7 回理事会

日　　時　令和 4 年 3 月 25 日（金）　15:00
審議事項　令和 3 年度第 3 四半期報告について
　　給与規程の改正について
　　令和 4 年度事業計画について
　　令和 4 年度資金収支予算について
報告事項　令和 3 年度介護サービス提供基盤事業～グループホームまどか 2 方向出入り家族面会室整備の完了報告
　　令和 3 年度介護ロボット導入支援事業～特別養護老人ホーム清光園入浴支援リフト整備の進捗報告
　　公宅整備の進捗について
　　理事長の実務状況報告
　　監事監査報告

監　事　監　査

（1）第 1 回監事監査

日　　時　令和 3 年 5 月 28 日（金）15:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　監事 2 名（中島秀喜、高橋一太）
　　理事 2 名（岡崎光雄、小田島英憲）
監査事項　令和 2 年度決算書類について
　　入居者預り金の管理状況について
改善事項　なし

（2）第 2 回監事監査

日　　時　令和 3 年 8 月 27 日（金）15:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　監事 2 名（中島秀喜、高橋一太）
　　理事 2 名（岡崎光雄、小田島英憲）
監査事項　令和 3 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの各会計執行状況について
　　入居者預り金の管理状況について
改善事項　なし

（3）第 3 回監事監査

日　　時　令和 3 年 11 月 26 日（金）15:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　監事 2 名（中島秀喜、高橋一太）
　　理事 2 名（岡崎光雄、小田島英憲）
監査事項　令和 3 年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの各会計執行状況について
　　入居者預り金の管理状況について
改善事項　なし

（4）第 4 回監事監査

日　　時　令和 4 年 2 月 25 日（金）15:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　監事 2 名（中島秀喜、高橋一太）
　　理事 2 名（岡崎光雄、小田島英憲）
監査事項　令和 3 年 10 月 1 日から 12 月 31 日までの各会計執行状況について
　　入居者預り金の管理状況について
改善事項　なし

評議員選任・解任委員会

（1）第 1 回評議員選任・解任委員会

日　　時　令和 3 年 6 月 4 日（金）16:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　委員 4 名（高橋一太、渡邊芳賢、細川啓二、坂本直樹）
　　理事 2 名（岡崎光雄、小田島英憲）
審議事項　次期評議員候補者「源藤世栄子」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「下田正人」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「横川孝一」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「大橋光紀」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「横田久美子」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「大山修二」の評議員選任について
　　次期評議員候補者「坪田聡」の評議員選任について

経 営 会 議

（1）第 1 回経営会議

日　　時　令和 3 年 5 月 13 日（木）14:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事長、施設長、佐々木課長、渡辺係長
　　特養事業部～松平部長、西川係長、佐藤係長、高泉主任、下村主任、竹田主任
　　地域事業部～小川管理者
　　居宅事業所～佐藤管理者
審議事項　令和 2 年度事業報告について

（2）第 2 回経営会議

日　　時　令和 3 年 8 月 12 日（木）14:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事長、施設長、佐々木課長、渡辺係長
　　特養事業部～松平部長、西川係長、佐藤係長、高泉主任、下村主任、ユニットリーダー 12 名
　　地域事業部～小川管理者、山崎管理者、佐藤美加子管理者
　　居宅事業所～佐藤管理者
審議事項　令和 3 年度第 1 四半期事業報告について

（3）第 3 回経営会議

日　　時　令和 3 年 11 月 18 日（木）14:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事長、施設長、佐々木課長、渡辺係長
　　特養事業部～松平部長、西川係長、佐藤係長、高泉主任、下村主任、竹田主任、ユニットリーダー 12 名
　　地域事業部～佐藤部長、小川管理者、山崎管理者、佐藤美加子管理者
　　居宅事業所～佐藤管理者
審議事項　令和 3 年度上半期事業報告について
報告事項　令和 4 年度事業計画プロジェクトチーム進捗状況について

（4）第 4 回経営会議

日　　時　令和 4 年 2 月 17 日（木）14:00
場　　所　特別養護老人ホーム清光園　地域交流センター
出席者数　理事長、施設長、佐々木課長、渡辺係長
　　特養事業部～松平部長、西川係長、佐藤係長、高泉主任、下村主任、竹田主任、ユニットリーダー 11 名
　　地域事業部～佐藤部長、山崎管理者
　　居宅事業所～佐藤管理者
審議事項　介護職員処遇改善支援事業による賃上げについて
　　令和 4 年度事業計画案及び資金収支予算案について
　　令和 3 年度第 3 四半期事業報告について

法人単位資金収支計算書（予算対比）

勘　定　科　目	予　算	決　算	執　行　率
介護保険事業収入	705,908,000	693,784,413	98.28%
施設介護料収入（特養）	412,698,000	404,299,130	97.96%
居宅介護料収入（短期）	14,971,000	12,610,360	84.23%
地域密着型介護料収入（デイ）	31,168,000	26,805,050	86.00%
地域密着型介護料収入（GH）	67,821,000	67,107,658	98.94%
居宅介護支援介護料収入（居宅）	18,312,000	16,611,390	90.71%
日常生活支援総合事業収入（デイ）	841,000	5,659,321	672.93%
利用者等利用料収入	155,037,000	155,375,590	100.22%
その他の事業収入	5,060,000	5,315,914	105.06%
老人福祉事業収入	15,974,000	16,290,440	101.98%
その他の事業収入	1,900,000	259,900	13.68%
経常経費寄付金収入	104,000	373,106	358.76%
受取利息配当金収入	6,384,000	10,395,730	162.84%
その他の収入	4,222,000	9,725,486	230.35%
事業活動収入計	734,492,000	730,829,075	99.50%
人件費支出	445,902,000	440,094,200	98.70%
事業費支出	115,668,000	98,092,384	84.81%
事務費支出	85,314,000	79,287,436	92.94%
利用者負担軽減額	11,001,000	10,928,379	99.34%
支払利息支出	4,535,000	4,659,671	102.75%
その他の支出		1,526,640	
事業活動支出計	662,420,000	634,588,710	95.80%
事業活動資金収支差額	72,072,000	96,240,365	133.53%
施設整備等補助金収入	3,500,000	7,335,000	209.57%
施設整備等収入計	3,500,000	7,335,000	209.57%
設備資金借入金元金償還支出	38,680,000	38,680,000	100.00%
固定資産取得支出	7,400,000	14,786,574	199.82%
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,515,000	1,391,868	91.87%
施設整備等支出計	47,595,000	54,858,442	115.26%
施設整備等資金収支差額	△ 44,095,000	△ 47,523,442	107.78%
長期貸付金回収収入	1,970,000	1,988,278	100.93%
積立資産取崩収入	1,000	131,761,290	
サービス区分間繰入金収入	58,298,000		
その他の活動収入計	60,269,000	133,749,568	
長期貸付金支出	1,750,000	89,000	5.09%
積立資産支出	23,932,000	234,006,395	977.80%
サービス区分間繰入金支出	58,298,000		
その他の活動による支出		3,888,000	
その他の活動支出計	83,980,000	237,983,395	
その他の活動資金収支差額	△ 23,711,000	△ 104,233,827	
当期資金収支差額合計	4,266,000	△ 55,516,904	
前期末支払資金残高		364,737,690	
当期末支払資金残高		309,220,786	

資金収支明細書（会計区分）

法人本部	特養	デイ	GH	居宅	陽光
	557,659,944	34,563,371	84,834,208	16,726,890	
	404,299,130				
	12,610,360				
		26,805,050			
			67,107,658		
				16,611,390	
		5,659,321			
	135,550,040	2,099,000	17,726,550		
	5,200,414			115,500	
					16,290,440
	259,900			115,500	
	373,106				
10,392,840	1,081			1,800	9
5,346,013	3,203,871	43,022	282,580	60,000	790,000
15,738,853	561,497,902	34,606,393	85,116,788	16,788,690	17,080,449
22,792,099	318,452,261	20,795,948	55,582,522	15,146,928	7,324,442
10,000	78,078,225	4,247,201	9,321,860	364,584	6,070,514
3,939,423	63,197,703	2,884,339	6,119,204	1,106,863	2,039,904
	10,899,087	29,292			
4,018,981	123,480				517,210
	1,417,440	22,000	87,200		
30,760,503	472,168,196	27,978,780	71,110,786	16,618,375	15,952,070
△ 15,021,650	89,329,706	6,627,613	14,006,002	170,315	1,128,379
	3,870,000		3,465,000		
	3,870,000		3,465,000		
35,080,000					3,600,000
1,409,600	9,682,074		3,465,000		229,900
	1,391,868				
36,489,600	11,073,942		3,465,000		3,829,900
△ 36,489,600	△ 7,203,942				△ 3,829,900
1,988,278					
130,000,000	1,761,290				
58,298,000					
190,286,278	1,761,290				
89,000					
229,483,490	3,774,895	257,220	195,800	294,990	
	52,298,000		6,000,000		
	3,758,000		130,000		
229,572,490	59,830,895	257,220	6,325,800	294,990	
△ 39,286,212	△ 58,069,605	△ 257,220	△ 6,325,800	△ 294,990	
△ 90,797,462	24,056,159	6,370,393	7,680,202	△ 124,675	△ 2,701,521
△ 169,700,391	496,477,813	13,464,271	30,457,597	374,087	△ 6,335,687
△ 260,497,853	520,533,972	19,834,664	38,137,799	249,412	△ 9,037,208

法人単位事業活動計算書

勘　定　科　目	当年度決算	前年度決算	増　減
介護保険事業収益	693,784,413	694,351,077	△ 566,664
老人福祉事業収益	16,290,440	16,925,151	△ 634,711
その他の事業収益	259,900	144,950	114,950
経常経費寄付金収益	373,106	145,000	228,106
サービス活動収益計❶	710,707,859	711,566,178	△ 858,319
人件費❷	444,432,305	420,806,773	23,625,532
事業費	98,092,384	91,362,914	6,729,470
事務費	79,287,436	85,904,404	△ 6,616,968
利用者負担軽減額	10,928,379	10,980,204	△ 51,825
減価償却費	57,000,478	56,599,823	400,655
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 15,619,170	△ 15,783,995	164,825
サービス活動費用計	674,121,812	649,870,123	24,251,689
サービス活動増減差額❸	36,586,047	61,696,055	△ 25,110,008
受取利息配当金収益❹	10,395,730	1,550,969	8,844,761
その他のサービス活動外収益	9,725,486	9,491,323	234,163
サービス活動外収益計	20,121,216	11,042,292	9,078,924
支払利息❺	4,659,671	4,971,544	△ 311,873
積立資産評価額	469,748	34,587	435,161
その他のサービス活動外費用	1,526,640	1,566,820	△ 40,180
サービス活動外費用計	6,656,059	6,572,951	83,108
サービス活動外増減差額❻	13,465,157	4,469,341	8,995,816
経常増減差額❼	50,051,204	66,165,396	△ 16,114,192
施設整備等補助金収益❽	7,335,000	10,087,580	△ 2,752,580
特別収益計	7,335,000	1,087,580	△ 2,752,580
固定資産売却損・処分損		1	△ 1
国庫補助金等特別積立金積立額	7,335,000	10,087,580	△ 2,752,580
その他の特別損失	3,888,000	1,908,693	1,979,307
特別費用計	11,223,000	11,996,274	△ 773,274
特別増減差額	△ 3,888,000	△ 1,908,694	△ 1,979,306
当期活動増減差額❾	46,163,204	64,256,702	△ 18,093,498
前期繰越活動増減差額	338,395,023	442,306,190	△103,911,167
当期末繰越活動増減差額	384,558,227	506,562,892	△122,004,665
基本金取崩額			
その他の積立金取崩額	130,469,748	60,034,587	70,435,161
その他の積立金積立額	229,200,000	228,202,456	997,544
次期繰越活動増減差額	285,827,975	338,395,023	△ 52,567,048

ポイント解説

❶サービス活動収益は、前年度と比べ 858,319 円減少しました。
- 介護保険事業収益の増減
  特養　3,805,672 円減
  デイ　618,483 円増
  ＧＨ　4,469,135 円増
  居宅　1,848,610 円減
- 利用者負担軽減措置補助金
  交付金額合計　5,174,014 円
- 経常経費寄付金収益は 373,106 円、６名の方から御寄附をいただきました。

❷人件費は、職員数の増加と４月の定時昇給により 444,432,305 円となりました。前年度と比べ 23,625,532 円増加しています。

❸サービス活動増減差額は、36,586,047 円で、前年度より 25,110,008 円減少しました。

❹受取利息配当金収益は、EB 債の利金により 10,395,730 円。前年度より 8,844,761 円増加しました。

❺支払利息は、前年度より 311,873 円減少しました。

❻サービス活動外増減差額は、13,465,157 円で、前年度より 8,995,816 円増加しました。

❼経常増減差額は 50,051,204 円で、前年度より 16,114,192 円減少しました。

❽施設整備等補助金収益
- 介護サービス提供基盤整備事業
  3,465,000 円
- 介護ロボット導入支援事業
  3,870,000 円

❾当期活動増減差額は、46,163,204 円で、前年同月より 18,093,498 円減少しました。

法人単位貸借対照表

［ 資 産 の 部 ］	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	358,259,071	415,565,482	△ 57,306,411
現金預金⑩	210,163,546	280,429,036	△ 70,265,490
事業未収金	116,757,877	114,124,111	2,633,766
未収補助金	4,151,604	9,673,793	△ 5,522,189
立替金	196,326	155,943	40,383
前払金	10,050,000		10,050,000
前払費用	325,600		325,600
短期貸付金	16,605,278	10,993,759	5,611,519
仮払金	8,840	188,840	△ 180,000
固定資産	1,161,334,072	1,104,000,017	57,334,055
基本財産	708,997,065	752,585,745	△ 43,588,680
土地	101,076,421	101,076,421	
建物⑪	606,920,644	650,509,324	△ 43,588,680
定期預金	1,000,000	1,000,000	
その他の固定資産	452,337,007	351,414,272	100,922,735
土地	8,430,766	7,021,166	1,409,600
建物	85,816,722	89,948,688	△ 4,131,966
構築物	2,097,053	3,207,584	△ 1,110,531
車輌運搬具	389,139	1,052,038	△ 662,899
器具及び備品	16,784,265	9,528,629	7,255,636
有形リース資産	5,766,072	7,151,136	△ 1,385,064
長期貸付金	3,755,198	5,654,476	△ 1,899,278
退職給付引当資産	48,339,620	45,622,635	2,716,985
修繕積立資産⑩	280,898,172	182,167,920	98,730,252
その他の固定資産	60,000	60,000	
資産の部合計⑫	1,519,593,143	1,519,565,499	27,644
［ 負 債 の 部 ］	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動負債	99,738,917	101,916,660	△ 2,177,743
事業未払金	14,144,551	18,090,427	△ 3,945,876
1年以内返済予定設備資金借入金⑬	38,680,000	38,680,000	
1年以内返済予定リース債務	1,330,632	1,391,868	△ 61,236
未払費用	31,184,198	29,063,714	2,120,484
預り金		3,132	△ 3,132
職員預り金	3,709,536	3,670,519	39,017
賞与引当金	10,690,000	11,017,000	△ 327,000
固定負債	499,954,174	535,627,821	△ 35,673,647
設備資金借入金⑬	438,950,000	477,630,000	△ 38,680,000
リース債務	4,324,554	5,655,186	△ 1,330,632
退職給付引当金	56,679,620	52,342,635	4,336,985
負債の部合計	599,693,091	637,544,481	△ 37,851,390
［ 純 資 産 の 部 ］	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	190,861,720	190,861,720	
国庫補助金等特別積立金	162,312,185	170,596,355	△ 8,284,170
その他の積立金	280,898,172	182,167,920	98,730,252
修繕積立金⑭	280,898,172	182,167,920	98,730,252
次期繰越活動増減差額	285,827,975	338,395,023	△ 52,567,048
うち当期活動増減差額	46,163,204	64,256,702	△ 18,093,498
純資産の部合計	919,900,052	882,021,018	37,879,034
負債及び純資産の部合計	1,519,593,143	1,519,565,499	27,644

ポイント解説

⑩資産の部 現金預金は、前年度末より 70,265,490 円減少し、修繕積立資産が前年度より 98,730,252 円増加しました。

⑪基本財産～建物
【基本財産の種類】建物
GH 面会室の設置により…
【当期末増加額】3,465,000 円
【当期減少額】47,053,680 円
【当期末残高】606,920,644 円

⑫資産の部合計は 1,519,593,143 円で、前年度末より 27,644 円増加しました。

※流動比率（流動資産÷流動負債×100）は 359.1％で、短期安定性は全国平均よりも高く、短期的な支払い能力が高いと言えます。

⑬設備資金借入金の期末残高は、477,630,000 円で、うち 1 年以内償還予定額は、38,680,000 円です。

⑭修繕積立金は 280,898,172 円で、前年度末より 98,730,252 円増加しました。

定期預金　38,002,507 円
投資信託　7,895,665 円
満期保有目的の債券（EB 債等）
235,000,000 円

※純資産比率（純資産÷総資産×100）は 60.5％で、長期継続性は全国平均よりも低く、借入金依存度が高いと言えます。しかし、一般的には 50% 以上あればかなり良好な状態と言われています。

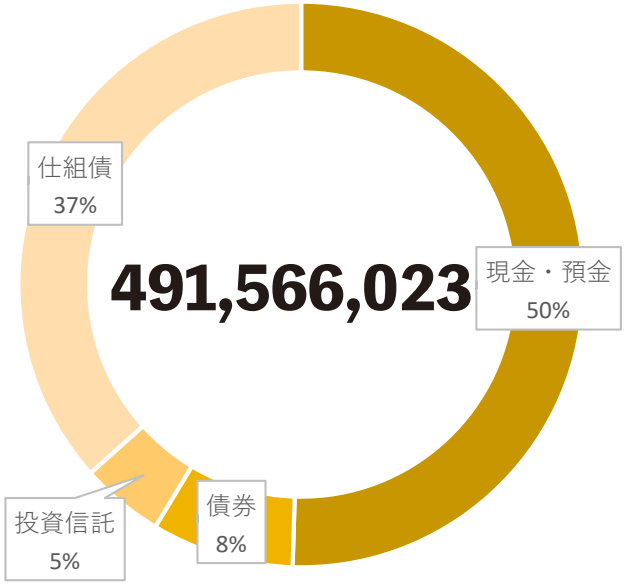
※固定長期適合率（固定資産÷（純資産＋固定負債）×100）は、81.7％となりました。この指標は、固定資産の整備に係る資金調達のバランスを示す指標で、値が低いほど長期継続性が高くなります。

社会福祉法人の経営状態

視　点		経営指標	2020 年度 全国平均	2020 年度 決算	2021 年度 決算
収益性		サービス活動増減差額率	2.09%	8.67%	5.14%
		経常増減差額率	2.14%	9.29%	7.04%
		職員一人当たりサービス活動収益	6,486 千円	6,192 千円	5,859 千円
安定性・継続性	短期安定性	流動比率	313.3%	407.7%	359.1%
		当座比率	201.6%	275.1%	210.7%
		現金預金対事業活動支出比率	3.7 カ月	5.48 カ月	3.9 カ月
	長期継続性	純資産比率	73.1%	58.0%	60.5%
		純資産比率（正味）	66.1%	52.7%	55.8%
		固定長期適合率	84.5%	77.8%	81.7%
		固定比率	107.7%	125.1%	126.2%
		借入金比率	17.3%	33.9%	31.4%
	資金繰り	借入金償還余裕率	59.4%	40.0%	40.6%
		借入金償還余裕率（正味）	62.4%	40.0%	40.6%
		債務償還年数	5.0 年	4.7 年	4.9 年
		事業活動資金収支差額率	7.2%	15.0%	13.1%
		事業未収金回転期間	1.40 カ月	1.92 カ月	1.97 カ月
		事業未払金回転期間	2.23 カ月	1.22 カ月	0.95 カ月
合理性	費　用	人件費比率	66.5%	59.1%	62.5%
		人件費・委託費比率	70.7%	65.0%	68.6%
		事業費比率	14.8%	12.8%	13.8%
		事務費比率	10.3%	12.0%	11.1%
		支払利息率	0.36%	0.69%	0.65%
		付加価値率	70.4%	69.3%	69.2%
		減価償却費比率	6.8%	7.9%	8.0%
		国庫補助金等特別積立金取崩額比率	34.2%	27.8%	27.4%
	資　産	正味金融資産額	284,230 千円	463,656 千円	492,121 千円
		正味金融資産額・減価償却類型学比率	54.1%	57.4%	57.0%
		固定資産老朽化率	47.2%	56.2%	54.6%
		総資産経営増減差額率	1.01%	4.35%	3.29%

解　説
サービス活動増健差額÷サービス活動収益計（%）　サービス活動収益に対するサービス活動増減差額の割合
経常増減差額÷サービス活動収益計（%）　法人の収益性を理解するうえで基本的な指標
サービス活動収益計÷総職員数（千円）　職員一人当たり、どの程度の事業収益を得ているかを示す指標
流動資産÷流動負債（%）　短期支払い義務に対する支払い能力を示す指標
現金預金÷流動負債（%）　現金預金による支払い能力を示す指標
現金預金÷（事業活動支出計÷ 12）（カ月）　現金預金残高が、事業活動支出の何か月分に相当するか示す指標
純資産÷総資産（%）　借入金など負債に対する安全度を見る指標
（純資産－国庫補助金等特別積立金）÷（総資産－国庫補助金等特別積立金）
固定資産÷（純資産＋固定負債）（%）　固定資産の整備に関わる資金調達のバランスを示す指標
固定資産÷純資産　固定資産の整備に関わる資金調達のバランスを示す指標
借入金残高合計÷純資産（%）　純資産に対して借入金残高がどの程度あるかを示す指標
借入金元利払額÷事業活動資金収支差額（%）　法人にとっての元利金返済の負担を示す指標
補助金が支給されないとした場合の元利金返済の負担を示す指標
借入金残高合計÷事業活動資金収支差額（年）　借入金残高を事業活動収支差額で完済する期間
事業活動資金収支差額÷事業活動収入計　事業活動による資金収入と資金支出のバランスを示す指標
事業未収金÷（サービス活動収益計÷ 12）（カ月）　サービスを提供してから対価としての債券を回収するまでの期間
事業未収金÷（(事業費＋事務費）÷ 12）（カ月）　サービス提供を受けてから債務を支払うまでにかかる期間
人件費÷サービス活動収益計（%）
（人件費＋業務委託費）÷サービス活動収益計（%）
事業費÷サービス活動収益計（%）
事務費÷サービス活動収益計（%）
支払利息÷サービス活動収益計（%）
付加価値＝サービス活動収益－（事業費＋事務費＋減価償却費＋国庫補助金等特別積立金取崩額＋徴収不能額）
減価償却費÷サービス活動収益計（%）
国庫補助金等特別積立金取崩額÷減価償却費（%）
現金預金＋定期預金＋積立資産＋その他の固定資産　法人が保有する金融資産の純額
正味金融資産額÷減価償却累計額（%）
減価償却累計額÷有形固定資産（土地を除く）取得価格（%）　法人の有する施設設備の老朽化状況を示す
経常増減差額÷総資産（%）　法人の事業の効率性と収益性を同時に示す指標

金融資産のポートフォリオ



仕 組 債

① iRobot Corp ／北洋証券
② iRobot Corp・Zoom ／北洋証券
③ Novavax ／北洋証券
④ BloomEnergyCorp・PlugPower ink ／北洋証券
⑤ Livent Corp・TESLA INK ／北洋証券
⑥日本 M & A センター／ほくほく TT 証券
⑦エムスリー／ほくほく TT 証券
⑧東レ／ほくほく TT 証券
⑨ジェイテクト／ほくほく TT 証券
⑩任天堂・東京エレクトロン／大和証券

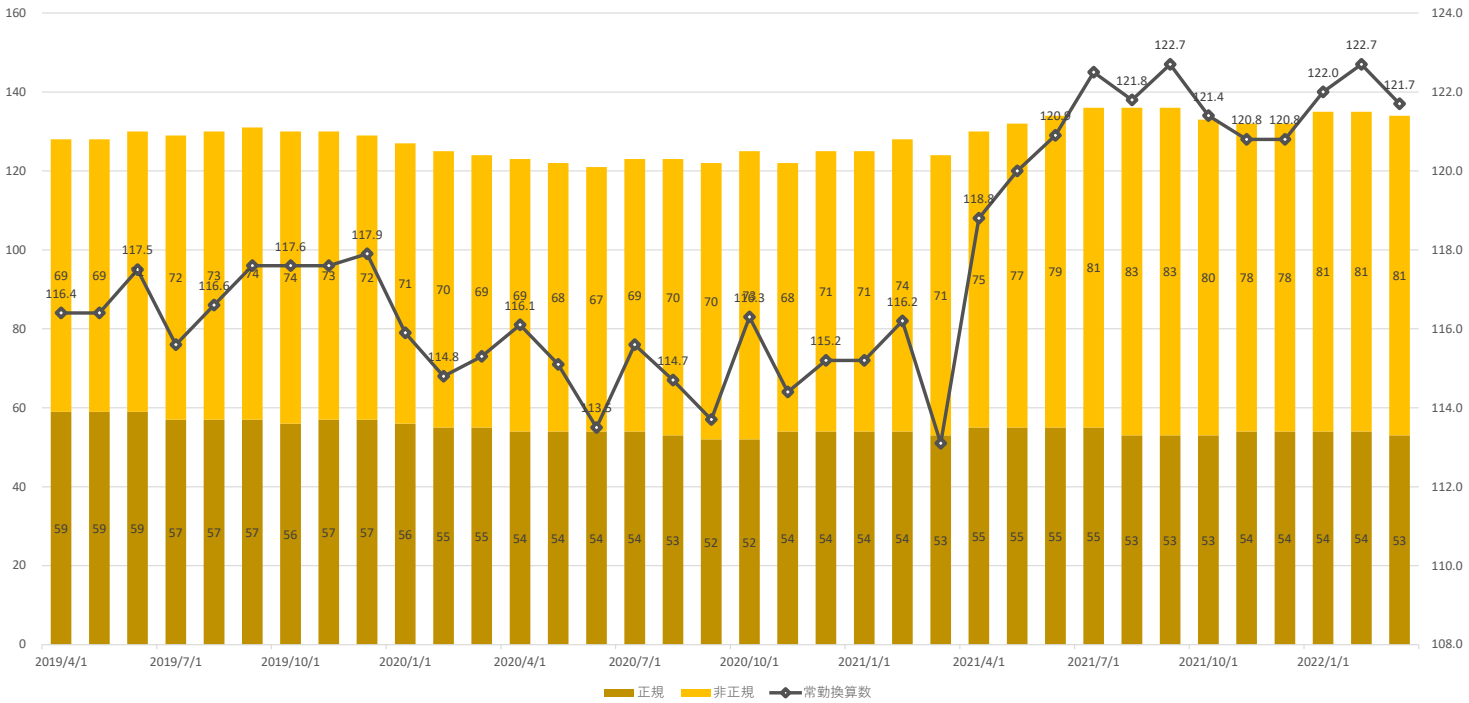
投資信託

①ゴールドマンサックス社債
②インデックスファンド 225
③ひふみプラス
④ THE 5G

債　　券

①北海道債
②札幌市債
③コーラブル債・バークレイズバンク

職員数の推移（2019 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 1 日）



雇用関係助成金

（1）障がい者雇用調整金　2,943,000 円
（2）特定求職者雇用開発助成金　250,000 円
（3）障がい者トライアル雇用助成金　240,000 円
（4）異業種チャレンジ奨励金　900,000 円

安心サポート事業

- 7 月　82 歳男性で、手持ち金がなく生活が困窮している。食料を購入するお金がないと相談を受け、食料品と医療費、老人福祉会館の入浴券を現物給付しました。
- 11 月　40 代男性、所持金なく経済援助を行いながら、就労意欲を換気。就労につなげる。

施設・設備等の法定検査

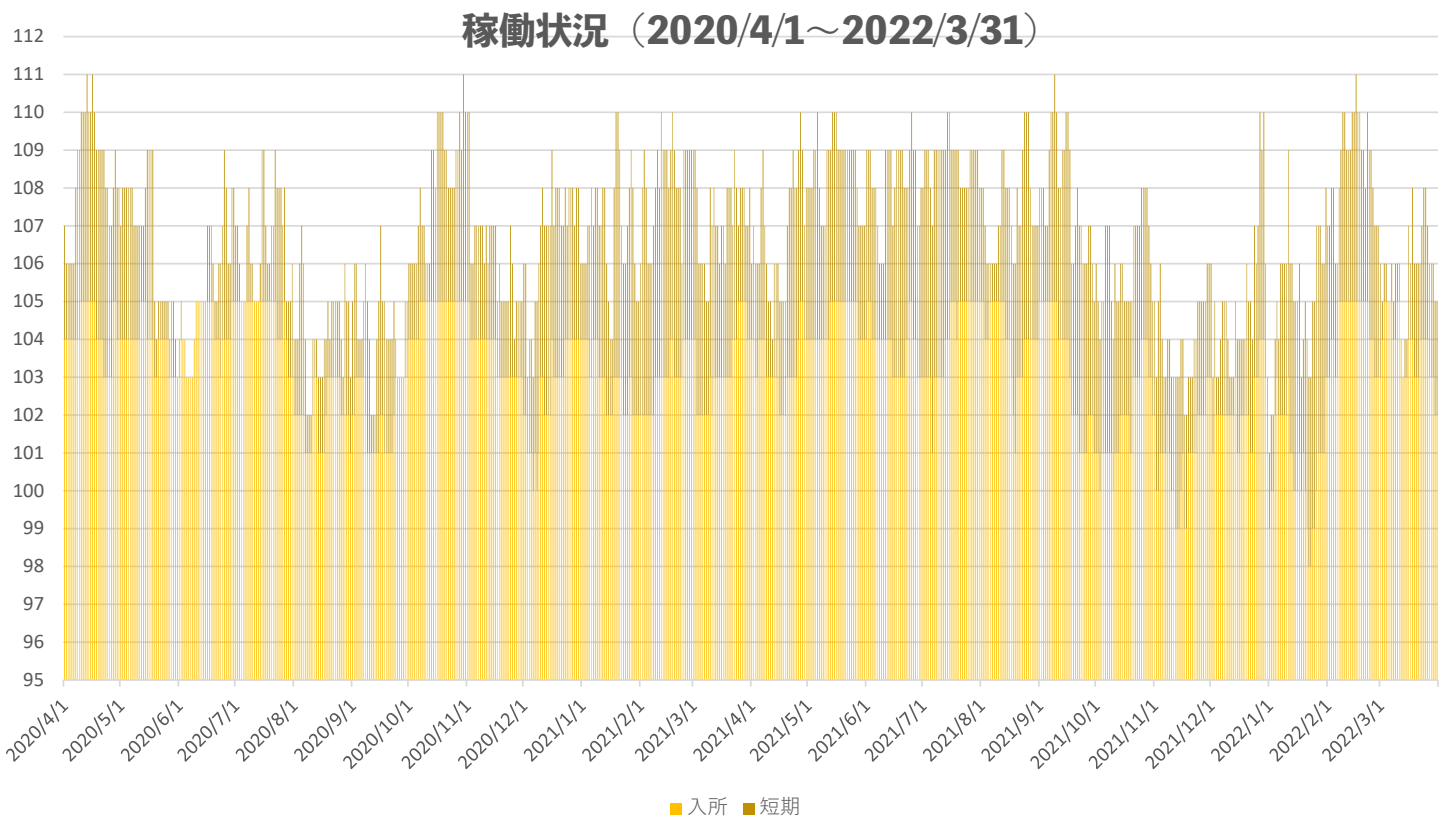
検査項目／該当事業所	関連法令	結果	内容
エレベーター法定検査（年 1 回）／特養	建築基準法	良好	5 月検査～報告官僚
消防立入検査（年 1 回）／全事業所	消防法	良好	特養～ 7/20 実施⇒異常（指摘）なし GH ～ 11/19 実施⇒異常（指摘）なし DS/ 陽光～ 11/19 実施⇒異常（指摘）なし
簡易専用水道検査（年 1 回）／特養	水道法	良好	10 月検査～異常（指摘）なし
浄化槽法定検査（年 1 回）／全事業所	浄化槽法	おおむね良好	10 月検査～全事業所異常（指摘）なし
煤煙測定検査（年 1 回）／特養	大気汚染防止法	良好	10 月検査～異常なし
消防設備点検（年 2 回）／全事業所	消防法	良好	9 月実施～異常（指摘）なし 2 月実施～以上（指摘）なし
電気工作物定期検査（3 カ月に 1 回）／特養	電気事業法	良好	7/27 ～停電検査（2 年に 1 回）異常なし

施設・整備等事業

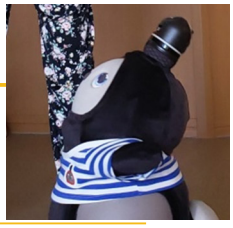
計画整備事業	事業所	予算額	実績報告
業務用洗濯機の更新	特養	48 万円	平成 13 年業務省力化整備事業補助金で整備した「業務用洗濯機」の老朽化に伴い更新検討⇒次年度へ見送る
給湯系統ポンプの更新	特養	30 万円	給湯系統ポンプ 4 台のうち、昨年度 2 台更新、今期は残り 2 台を更新予定であったが、業者立ち合いで点検し、まだ使えると判断した。
ボイラー消耗品の交換	特養	45 万円	2021 年 10 月実施の整備点検で経年劣化部品を交換
エレベーター基板交換	特養	61 万円	7/29　経年劣化により基板交換実施　費用 605,000 円
貯湯槽非水管交換工事	特養	15 万円	4 月　タンク下部排水管腐食により交換実施　費用 185,000 円
暖房機器劣化部品交換	特養	60 万円	冷蔵庫パッキン、ガスレンジの五徳とバーナー、食器保管庫パッキンなど劣化部品を分解清掃、各整備
自家発電機バッテリー交換	特養	25 万円	10 月実施予定　14 年経過によりバッテリーを交換　費用 75,680 円
冷蔵庫 12 台更新	特養	210 万円	ユニット配備冷蔵庫の更新検討中　今年度見送り
備蓄非常食更新	特養	75 万円	非常食の使用期限超過による更新。次年度購入
特養公用車の入替え	特養		日本財団車両整備事業により入替え検討したが、整備事業対象外となる。 12/17　共同募金施設活動支援事業に申請中
給湯暖房ボイラー更新	GH	60 万円	2/21 故障、半導体不足のため本体納品半年待ちの状況。電気ヒーターを整備して緊急対応する。費用 37,450 円
浄化槽移行ポンプ修繕工事	特養		6/19　漏電警報により移行水槽内のポンプが完全に動かないことが判明 修繕工事実施　費用 247,500 円

2021 年度（令和 3 年度）補助金申請等による整備事業

計画整備事業	事業所	予算額	実績報告
非常用自家発電機整備事業	GH	1155 万円	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 認知症高齢者グループホーム等防災改修支援事業 5/21 夕張市に協議書提出～夕張市より電話で非該当の連絡あり
2 方向から出入りできる家族面会室整備事業	GH	350 万円	令和 3 年度介護サービス提供基盤等整備事業 ゾーニング環境整備 6/25 夕張市に協議書を提出　12 月交付決定を受ける 交付金額　3,465,000 円
介護ロボット導入支援事業	特養	774 万円	特養の浴室 6 か所に入浴支援リフトを設置する。2/10 交付決定、3 月設置 交付金額　3,870,000 円



事業計画	実績報告
事業活動収入 569,408,000 円	事業活動収入 561,497,902 円　予算執行率 98.6% 特養平均要介護度 3.83（前年度 3.99）　1 日一人あたりの利用単価　14,198 円 施設介護料収入（特養）　前年より 2,244,897 円増収 居宅介護料収入（短期）　前年より 717,446 円増収 福祉有償運送事業　35 件　186,600 円
特別養護老人ホーム 稼働率 98.5%以上	稼働率 98.1% 空所期間は平均 5.5 日間 空室発生理由　入院 58%　死亡 36%　外泊 6 %　在宅復帰 年間死亡者数 43 名　うち入院後、病院で亡くなられたケース 11 件
ショートステイ 稼働率 85%以上	稼働率 75.4% 平均要介護度 2.3（前年度 2.6）
ユニットリーダー研修	新型コロナ感染症のため、実習生の受け入れはしていませんが、道では ZOOM による研修を行っています。研修講師として職員を派遣しています。 ユニットリーダー研修の実地施設の更新調査については、次年度へ持ち越しです。
入所判定委員会	• 6 月、9 月に照会形式で開催し、待機順位を確定しています。 • 12/15　地域交流センターにて開催。定例の判定会議を待たずに入居した 11 名の経緯について確認。10 名の待機順位を確定した。 • 3/16 開催。7 名の待機順位を確定。実質待機者は 0 名となる。
衛生委員会	• 安全衛生パトロールの実施 • 4 月 1 日より、ハラスメント防止等に関する要綱施行 • 職員健康診断やストレスチェックを実施しました。 • 1 回目　10/26　123 名受診 • 2 回目　2/28　89 名受診 • 10/28　腰痛予防内部研修実施
若返り！健康増進プロジェクト	各フロアのエレベーターホールで、YouTube を活用した各種体操を実施しています。各フロアに 65 インチのテレビを設置しました。
地域とつながる！さつま芋栽培プロジェクト	6/12　沼ノ沢の高橋農園さんの休耕地をお借りしてさつま芋の苗（紅はるか）350 本を植えました。8 月に草刈りをしました。 10/30 収穫



コミュニケーションロボット LOVOT の活用研究プロジェクト	2 体購入　通信費込み 982,674 円 5/12　おかざきさんとそらくんが誕生しました LOVOT がいることで、入居者の行動範囲が広がり、離床時間が延伸しています。
予約でいっぱい！ホテルライクなショートステイプロジェクト	ショートステイの居室は、個室に求められる三要素（洗面設備・自分で調整つできる空調設備・自由に使える照明）に加えて、安心・快適な空間でくつろげる場所を目指したい。コンセプトはホテルライクな空間です。IKEA での事例を参考に居室のレイアウトを考えました。
入居者の自立へ向けた生活環境の改善	車椅子　2 台　110,000 円 モジュール式車椅子の購入　10 台　498,000 円 ティルト機構付きリクライニング車椅子の購入　1 台　217,000 円

ユニットリーダー実地施設調査項目 70 点以上　課題と取り組み内容

明石ユニット （吉田 UL）	• 入居者が朝起きて何をしようか考え、実行できるよう職員は努力している • セミパブリックスペースなど工夫のできる空間等をうまく利用している
大宮ユニット （湊 UL）	• リビングにいる入居者はそこで生活感を感じている➡リビングの配置を変更した。 • 入居者が朝起きて何をしようか考え、実行できるよう職員は努力している
末広ユニット （佐々木 UL）	• セミパブリックスペースなど、工夫のできる空間等をうまく利用している➡図書室（ライブラリールーム）をイメージして空間作りを行った。
富野ユニット （高泉 UL）	• リビングに煮炊きできるキッチンが設置されている➡食器類がプラスチック製のものが多かったため、ガラス製品や磁器のものを買いそろえた。
錦沢ユニット （下村 UL）	• ユニットリーダー及び常勤職員の聞き取り項目全般➡對馬介護職員と実地調査のシミュレーションをしている。
青葉ユニット （佐久間 UL）	• 記録は一覧化している➡引継ぎメモがパソコン周辺に置いてあり、誰でも見れる状態だったため、引継ぎノートを活用するようにした。付箋等のメモはそのままノートに貼り付け手間を省いた。 • プライバシーに配慮し気持ちよく排泄できるよう環境を整えている➡入居者使用後、トイレのドアが開いたままの事があるため、気を付けている。
白金ユニット （宮沢 UL）	• リビングにいる入居者はそこで生活感を感じている➡①テーブルとソファの位置を変えた。②オーバーテーブルから食卓テーブルに変更した。③珈琲が好きな時に飲めるようにポットの位置を変えた。職員が使用するパソコンの場所を変えた。 • 職員のペースになったり、日課の消化となったりしていない➡その日の入居者の状態変化に対応できるように気を付けている。
福住ユニット （片山 UL）	• 浴室は分散配置、個浴設置など、入居者の入浴希望に添えるよう配慮している➡①浴室の整理整頓②必要な物品を品定め③入居者個人の収納場所を提案④パーテーションで間仕切ることで脱衣スペースを狭くした。 • リビングにいる入居者はそこで生活感を感じている➡テーブル位置とソファの位置を変え、食事の場と寛ぎの場をしっかりと仕切った。
春日ユニット （下村沙喜 UL）	• 介護者の都合で教室のドアを開けっぱなしにしていることはないようにしている➡ • 排泄介助が必要な入居者に対して、個別に誘導や介助の支援をしている➡ • 職員のペースになったり、日課の消化となったりしていない➡
菊水ユニット （斉藤 UL）	• ユニットリーダー及び常勤職員の聞き取り項目全般➡引継ぎの時間を使い、クイズ形式で聞き取り問題をしている。自分の言葉で回答できるように指導している。
千年ユニット （中上 UL）	• 入居者に関する記録は一元化一覧化されている➡パソコンが開きっぱなしになっていたので、パソコン横のペン立てに張り紙をした。 • 入居者の羞恥心に配慮した支援を行っている➡職員同士の会話でも、周囲に配慮するように気を付けている。 • 排泄介助が必要な入居者に対して、個別に誘導や介助の支援をしている➡排泄介助の声掛けは、周囲にわからないように気を付けている。
弥生ユニット （稲井 UL）	• 排泄介助が必要な入居者に対して、個別に誘導や介助の支援をしている➡オムツパッドの補充をする時に、むき出しで持ち歩いていたので、袋を用意し何を運んでいるかわからないようにした。 • 入居者の羞恥心に配慮した支援を行っている➡排泄の声掛けに配慮を欠いていたので、ユニットの共有課題として気を付けている。

地 域 事 業 部

事業計画	実績報告
事業活動収入 (事業部連結) 136,847,000 円	事業活動収入 136,803,630 円　予算執行率 99.9%
グループホーム 事業活動収入 84,974,000 円	事業活動収入 85,116,788 円　予算執行率 100.16% GH 稼働率 99.2%　平均要介護度 2.78 共用型デイサービス 7 月 1 日開始（定員 3 名、土日休み） 共用型デイ稼働率 76.2%　平均要介護度 1.2
デイサービス 事業活動収入 34,106,000 円	事業活動収入 34,606,393 円　予算執行率 101.46% 1 日平均利用者数 17.3 人 要介護者　月平均 32.1 名 要支援者　月平均 18.5 名
共同住宅会計 事業活動収入 17,767,000 円	事業活動収入 17,080,449 円　予算執行率 96.13% 稼働率 99.5%
運営推進会議	グループホームまどかでは、11 月の第 4 回会議のみ特養の地域交流センターで行いましたが、それ以外は、新型コロナ感染防止の観点から、集合開催は中止し書面審議としました。
地域カフェ	オレンジカフェは月に 1 度開催し、脳トレ問題や新型コロナ予防関連情報をお伝えしています、w 笑 w カフェは月に 1 度開催し、自宅でできる運動や新型コロナの最新情報、食中毒予防、免疫力アップにつながる食事についてなどの情報誌を発刊しています。 カフェを開催することにより、在宅生活の様子を把握でき、さまざまな相談を受けるようになりました。
配食サービス	月に 2 回、南清水沢地区の独居高齢者宅にお弁当を提供しています。地域事業部では、栄養バランスのとれたお弁当を提供することで、食を通じて高齢者の健康づくりのお手伝いをしています。
その他の地域活動	南清水沢在宅福祉サービス委員会で、南清水沢の独居高齢者支援について、地域包括支援センターや夕張市社協の生活コーディネーターと情報交換を行っています。 10/26　認知症サポーター養成講座　夕張高校 1 年生 14 名 3/14　認知症キッズサポーター養成講座　ゆうばり小学校 5 年生 24 名 3/29　陽光　地域リハビリテーション活動 17 名参加

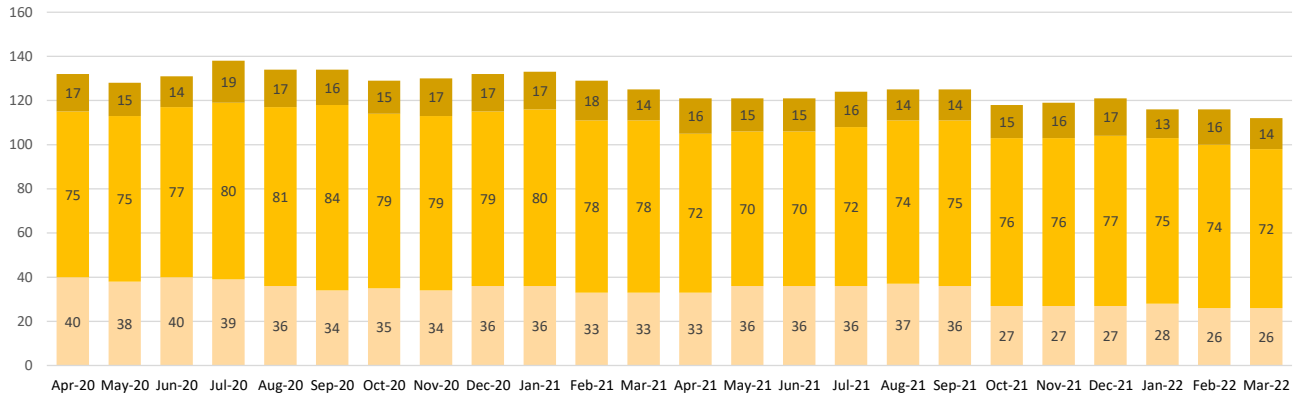
サービス改善委員会

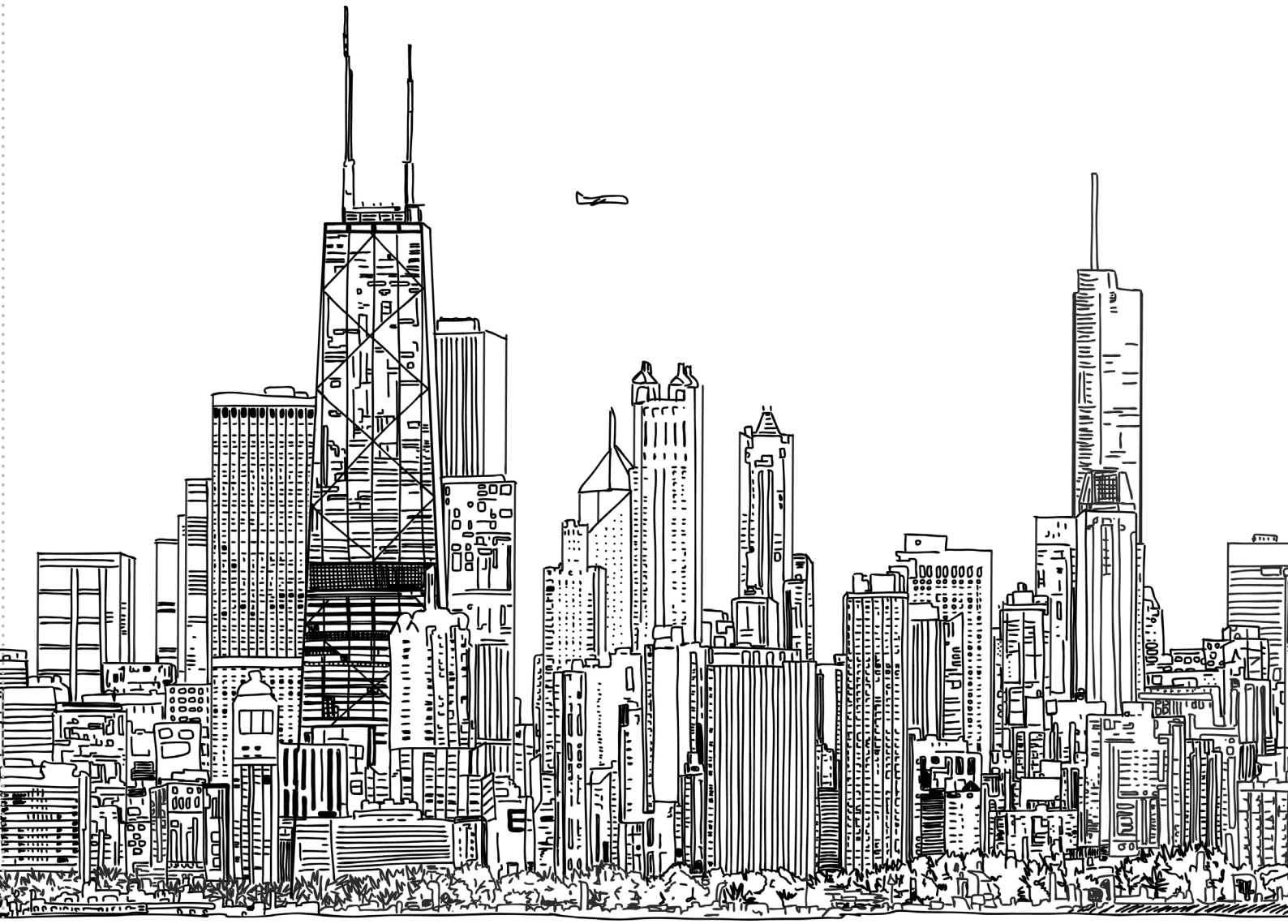
委員会	活動内容
防災・防犯	自然災害 BCP（事業継続計画）の見直し、作成。 7/27 自然災害想定訓練／停電発生時初期対応 8/31 自衛消防避難訓練／日中火災 9 月 3 回実施　自然災害想定訓練／土砂災害時の上階避難訓練対応 3/30 自衛消防避難訓練／夜間火災
研修	4 月　理念研修 5 月　ゾーニング内部研修 6 月　権利擁護に関する内部研修 7 月　排泄委員会による内部研修 9 月　身体拘束廃、看取りケア、事故苦情に関する研修 10 月　排泄委員会、褥瘡予防委員会、感染予防委員会、腰痛予防、COVID-19 感染制御に関する研修 11 月　入門的研修（3 日間）3 名参加 12 月　やねだん故郷創世塾 4 名参加 2 月　個別ケア部会 3 名参加 3 月　虐待防止実践研修 2 名参加 ※認知症ケア研修～ 2 カ月に 1 回開催
事故・苦情	ヒヤリハット 38 件 事故 144 件（うち保険者・道へ報告 15 件） 苦情 2 件 6 月　安全対策担当者養成研修　1 名修了

居宅介護支援事業所

事業計画	実績報告
事業活動収入 18,347,000 円	• 事業活動収入 16,788,690 円　予算執行率 91.50% • 月平均利用者数　122.5 名 • 入院 25 名　施設入所 19 名　死亡 4 名　新規利用 32 名 • 特定事業所加算Ⅲ（309 単位）取得 • 介護認定調査料 115,500 円
地域包括ケアシステムの推進	認知症への対応力向上に向けた取組 • 介護情報公共システムで認知症に係る取組の情報を公表しました。 看取りへの対応の充実 • 未実施 在宅サービスの機能と連携強化 • 入院時情報連携加算 1 件 ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保 • 同法人デイサービスの利用割合 42.8% • 同法人ショートステイの利用割合 35.7%

居宅介護支援事業所 要介護度別稼働状況



	Apr-20	May-20	Jun-20	Jul-20	Aug-20	Sep-20	Oct-20	Nov-20	Dec-20	Jan-21	Feb-21	Mar-21	Apr-21	May-21	Jun-21	Jul-21	Aug-21	Sep-21	Oct-21	Nov-21	Dec-21	Jan-22	Feb-22	Mar-22
要介護3,4,5	17	15	14	19	17	16	15	17	17	17	18	14	16	15	15	16	14	14	15	16	17	13	16	14
要介護1,2	75	75	77	80	81	84	79	79	79	80	78	78	72	70	70	72	74	75	76	76	77	75	74	72
要支援	40	38	40	39	36	34	35	34	36	36	33	33	33	36	36	36	37	36	27	27	27	28	26	26

委員会	活動内容
排泄ケア	ユニ・チャームを招いて排せつ支援加算について勉強会を開きました。 リハビリパンツの当て方やパッド交換の当て方の研修を行っています。 支援計画書を作成　尿測に基づき排せつ用品を選定、パット使用量が減少しました。
認知症ケア	湊ユニットリーダーが講師となって、2 カ月ごとに認知症ケアについて研修を開催しました。
看取りケア	看取り介護の経過報告とですカンファレンスを行っています。 9/3　7 名の新人スタッフや看取り介護の経験の浅いスタッフを中心に看取りに関する内部研修を開催しました。 2/25　職員 15 名参加し、①看取り介護について不安なこと　②不安に感じた場面について　③もしも自分が最期を迎えるとしたら何がしたいか‥について意見交換を行いました。
口腔ケア	口腔ケアに関する加算内容について確認・共有しました。 LIFE への入力について勉強会を開きました。 木村先生に口腔ケア研修を開催してもらいました。
感染予防	4 月　感染予防研修研修開催、感染予防チェックシートで各ユニットの取組について情報共有した 7 月　感染予防チェックシートによる情報共有 10 月 各ユニットの清掃、消毒について確認する。手指消毒を徹底するために、小型ボトルを勤務者が持参するようにした。 2 月　アルコール消毒、手指消毒、手洗いを再確認した。